

第 2 次徳島市地球温暖化対策推進計画

策定のためのアンケート調査結果

■ アンケート調査の概要

1 調査地区

徳島市全域

2 調査対象

(1) 市 民：徳島市内に居住する 20 歳以上 80 歳未満の男女 1,000 人

(2) 事業者：徳島市内に本店・支店等を有する事業所 500 社

3 抽出方法

(1) 市 民：性別、年齢層別の人口比に応じて、1,000 人を無作為抽出。

(2) 事業者については、市内の事業者の業種割合に応じて 500 社を抽出。

4 調査期間

平成 25 年 2 月 6 日から 2 月 22 日まで

5 回収結果（有効回収数・回収率）

(1) 市 民：392 人 / 999 人 (39.2 %)

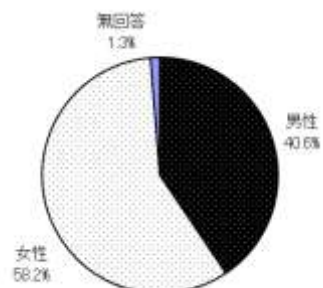
(2) 事業者：168 社 / 492 社 (34.1 %)

■市民アンケート結果(集計対象者 n=392)

1 あなたご自身のことについておたずねします。

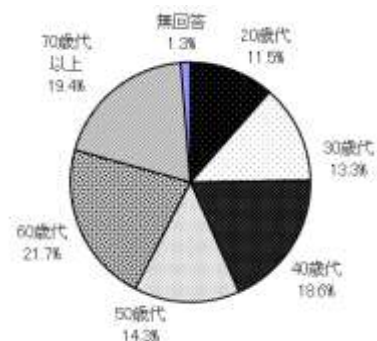
問1 あなたの性別は。

集計対象者のうち男性が40.6%、女性が58.2%となっています。



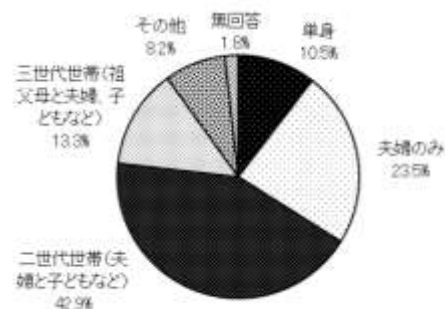
問2 あなたの年齢は。

集計対象者のうち60歳代が21.7%と最も多く、次いで70歳代以上の19.4%となっています。



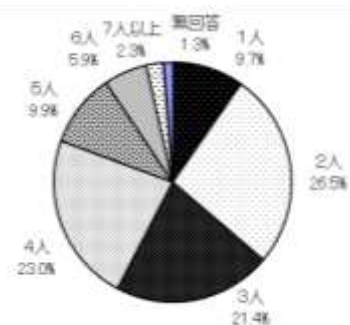
問3 あなたのご家族構成は。

集計対象者のうち、二世世代世帯(夫婦と子どもなど)が43.6%と最も多く、次いで夫婦のみの23.9%となっています。



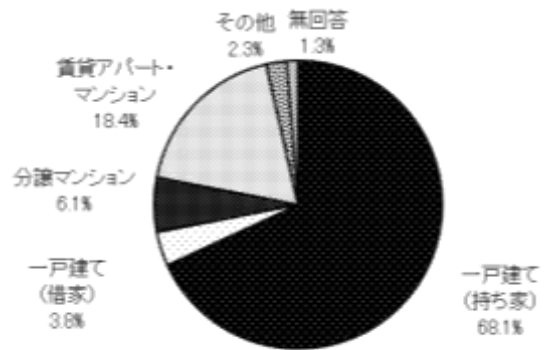
問4 あなたを含めたご家族の数は。

家族数では「2人」が26.5%と最も多く、次いで4人の23.0%となっています。



問5 あなたのお住まい(住居)の形態は。

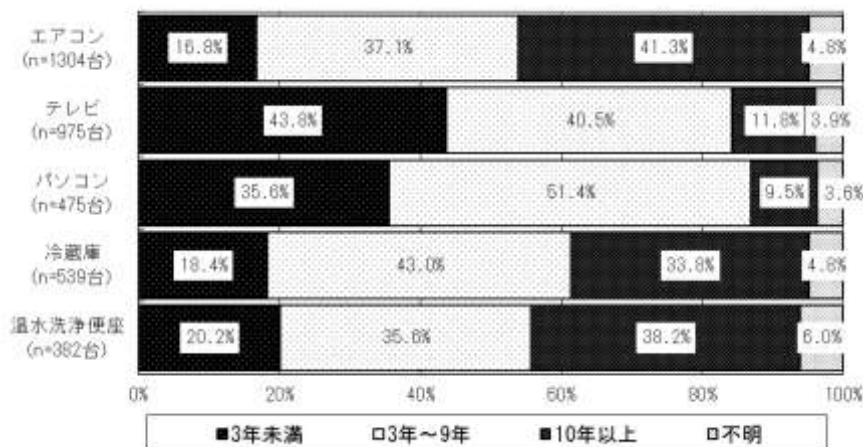
集計対象者のうち、「一戸建て(持ち家)」が68.1%と大きな割合を占めており、次いで「賃貸アパート・マンション」の18.0%となっています。



問6 あなたのご家庭でお持ちの家電機器の台数と購入時期(何年前にご購入されたか)についておたずねします。

購入時期が「3年未満」の家電機器で最も多いのは「テレビ」(43.8%)となっており、次いで「パソコン」(35.6%)となっています。

逆に購入時期が「10年以上」の家電機器で多いのは「エアコン」(41.3%)や「温水洗浄便座」(38.2%)となっています。

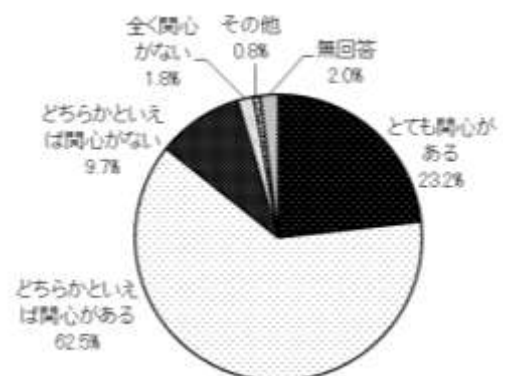


2 地球温暖化に関する情報についておたずねします。

問7 地球温暖化問題について、どのくらいの関心をお持ちですか。

「どちらかといえば関心がある」と回答した人が62.5%と最も多く、次いで「とても関心がある」(23.2%)となっています。

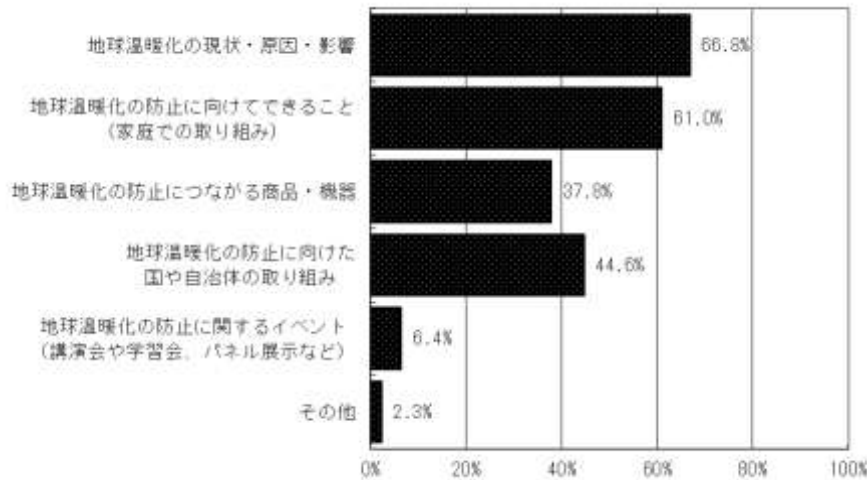
約85%の人が関心を持っていることがわかります。



問 8 あなたは地球温暖化問題の中では、どのようなことに関心がありますか。

(複数回答)

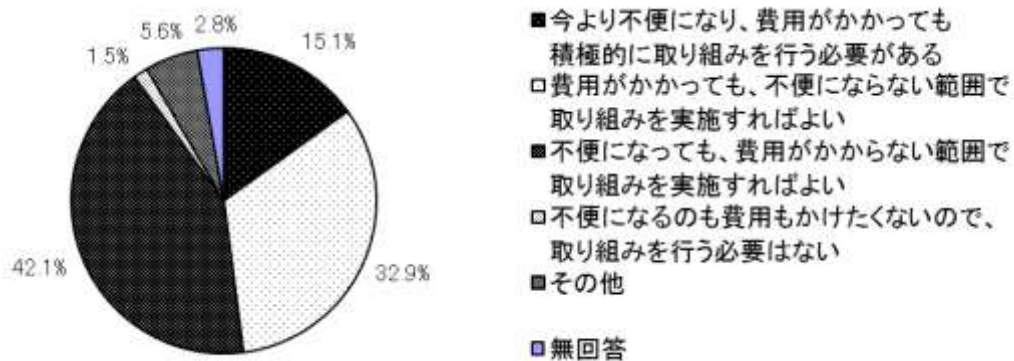
関心を持っている項目としては、「地球温暖化の現状・要因・影響」が 66.8%と最も多く、次いで「地球温暖化の防止に向けてできること」が 61.0%となっています。



問 9 個人の日常生活での地球温暖化防止の取り組みについてどのようにお考えですか。

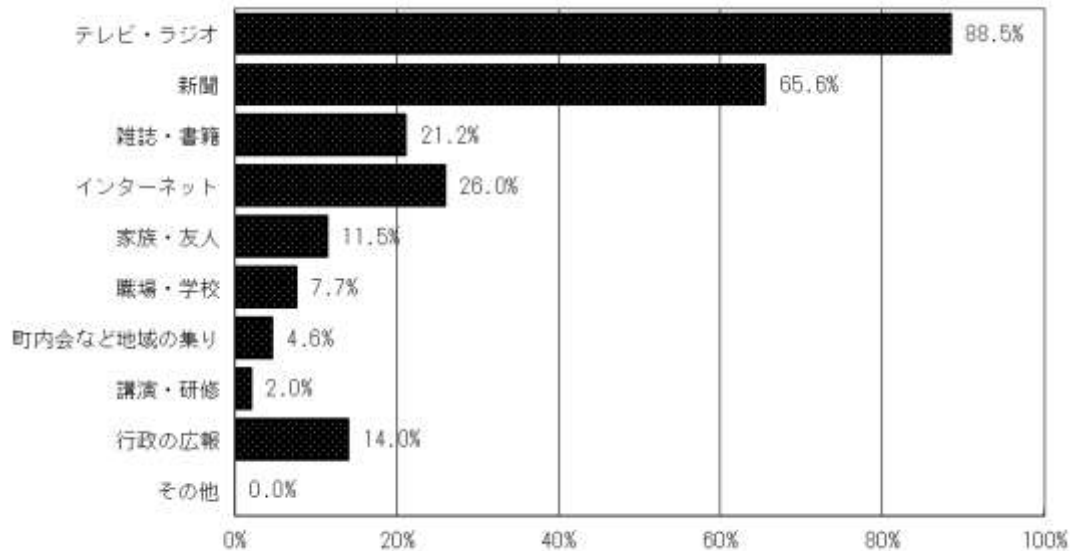
「不便になっても、費用がかからない範囲で取り組みを実施すればよい」と考えている人が 42.1%と最も多く、次いで「費用がかかっても、不便にならない範囲で取り組みを実施すればよい」と考える人が 32.9%となっています。

費用負担と利便性のそれぞれを配慮しながらも取り組みを実施する意向が表れています。



問 10 あなたは地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ていますか。(複数回答)

「テレビ・ラジオ」の回答が 88.5%と最も多く、次いで「新聞」の 65.6%となっています。また「インターネット」での取得が 26.0%と「雑誌・書籍」(21.2%)や「行政の広報」(14.0%)よりも多くなっています。



3 地球温暖化防止に向けた取り組みについておたずねします。

問 11 あなたが日頃、生活の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みはありますか。

「常に実行している」と「時々実行している」を合わせた割合が 7 割を越えて取組率が高くなっている項目は「照明やテレビ、パソコン、ステレオ等のスイッチをこまめに消す」(93.8%)、「冷蔵庫の開け閉めは出来るだけ少なく、また短時間にする」(84.4%)、「エアコンは夏高め、冬低めで設定する」(75.9%)の 3 項目となっています。

一方、「今後も実行しない」との回答が多くなっているのは、「環境家計簿などを使って、家庭でのエネルギー使用量を把握し、省エネ効果の確認を行う」(19.8%)、「環境にちなんだ行事や学習会、ボランティア活動に積極的に参加する」(18.8%)、「通勤や買い物などはマイカーを控え、自転車や JR・バス等の公共交通機関を利用する」(17.3%)が挙げられています。

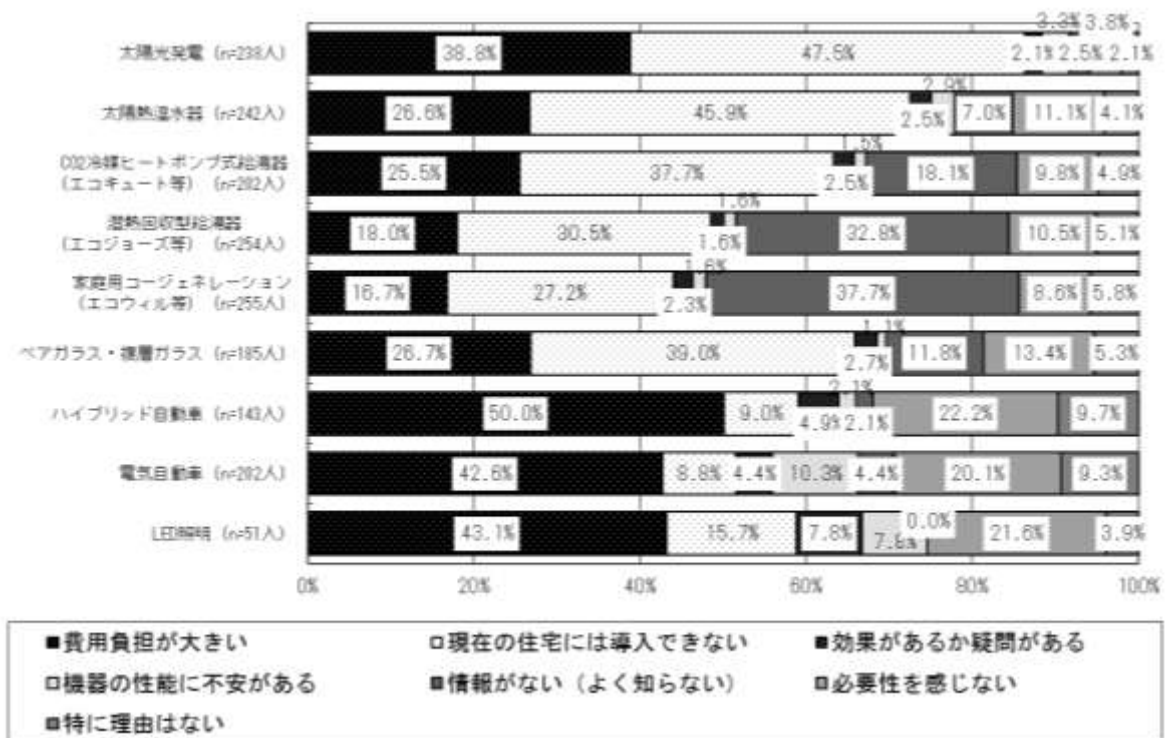
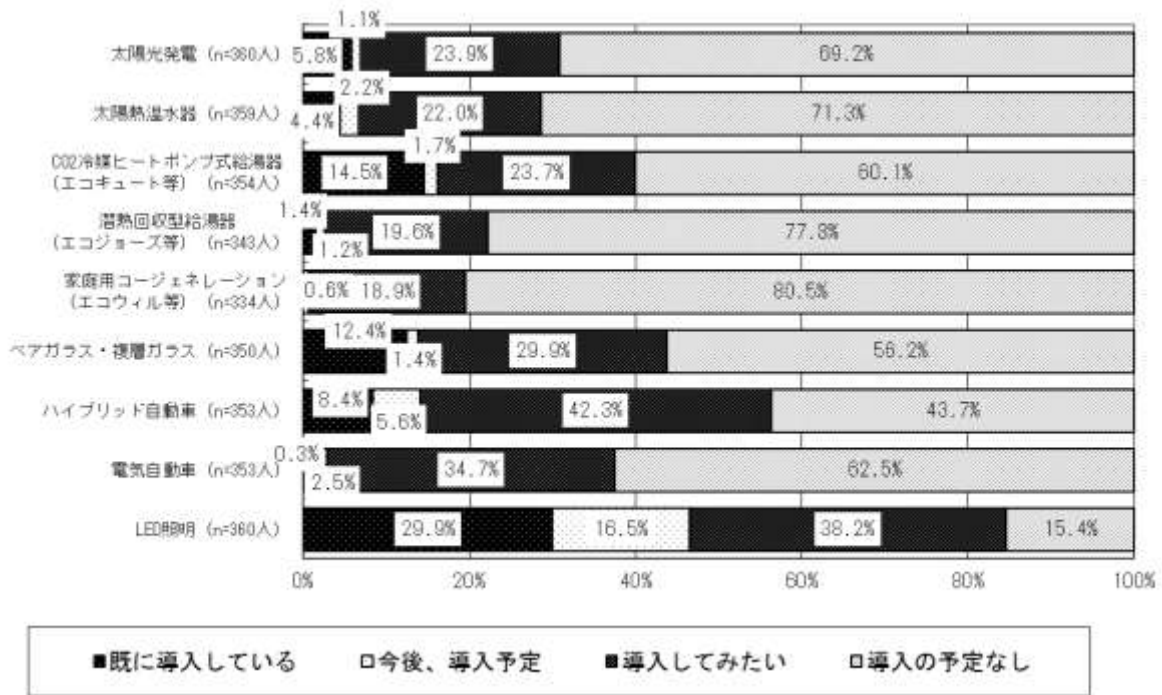


問 12 あなたのお宅では、地球温暖化防止につながる省エネルギーや自然エネルギーに関する設備を導入していますか。また「導入する予定なし」と回答された場合は、その理由は。

「既に導入している」との回答が最も多い設備は、「LED 照明」の 29.9%となっており、次いで「CO2 冷媒ヒートポンプ式給湯器 (エコキュート等)」の 14.5%となっています。また、「導入してみたい」との回答が多い設備については、「ハイブリッド自動車」が 42.3%と最も多くなっています。

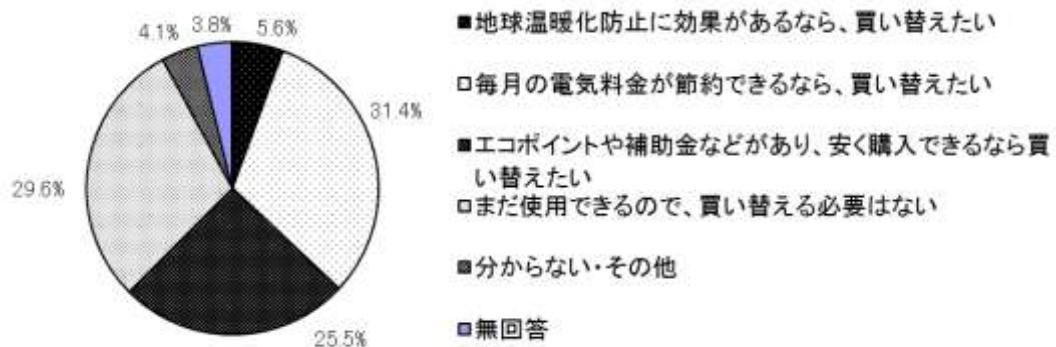
一方、「導入の予定なし」の回答については、「家庭用コージェネレーション (エコ

ウィル等)」の80.5%をはじめ、ほとんどの設備について5割を超えており、その理由としては「費用負担が大きい」と「現在の住宅には導入できない」が挙げられています。



問 13 地球温暖化防止に向けた省エネ行動の一つとして、古い家電機器を省エネタイプの新しい機器に買い替えることがあります。あなたの考えにあてはまるものは。

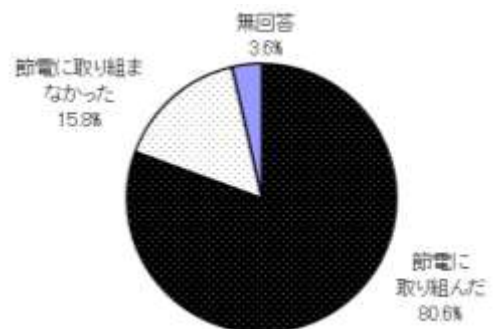
「毎月の電気料金が節約できるなら、買い替えたい」が31.4%と最も多く、次いで「まだ使用できるので、買い替える必要はない」の29.6%となっています。



問 14 節電は地球温暖化防止に向けた取り組みの一つですが、平成 24 年の夏(7 月～9 月)は電力不足が懸念されたことから、四国電力管内では、猛暑であった平成 22 年度と比較して5～7%の節電要請が出されました。平成 24 年の夏の節電の取り組みについておたずねします。

①平成 24 年の夏の節電に取り組みましたか。

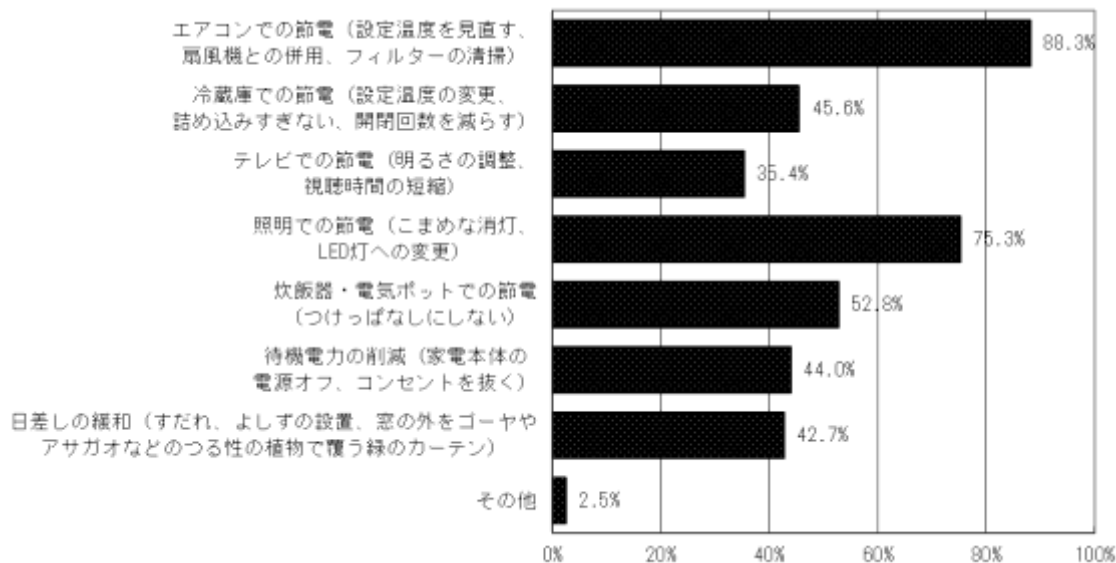
集計対象者のうち「節電に取り組んだ」のは83.4%、「節電に取り組まなかった」のは15.8%と大半の方が節電に取り組まれていました。



②「節電に取り組んだ」方に。平成 24 年の夏の節電では、どのようなことに重点的に取り組みましたか。(複数回答)

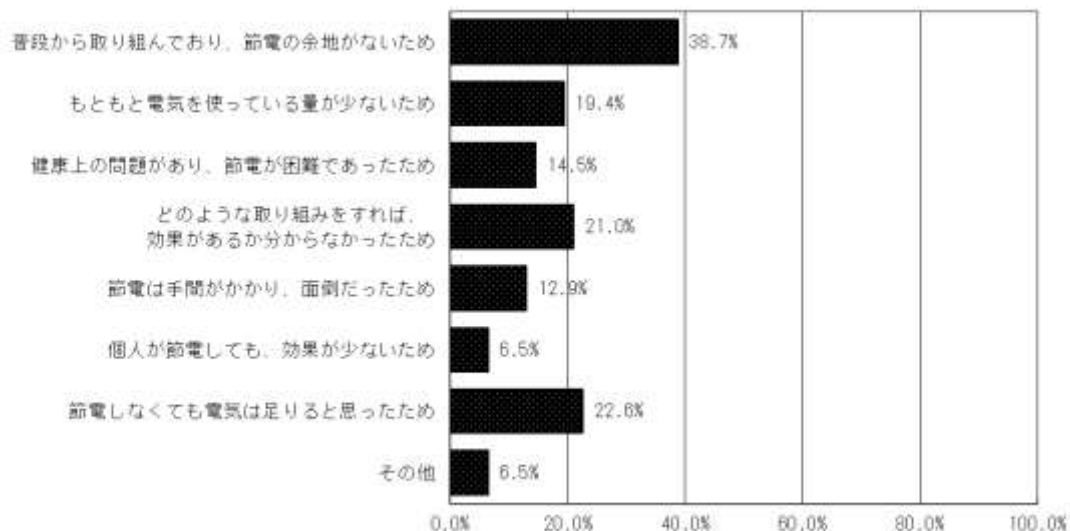
最も多かったのは「エアコンでの節電(設定温度を見直す、扇風機との併用、フィルターの掃除)」で88.3%となっており、次いで「照明での節電(こまめな消灯、LED 灯への変更)」の75.3%となっています。

「その他」では「電気製品にタイマーを取り付けた」などの取り組みが挙げられています。



③「節電に取り組まなかった」方に。平成 24 年の夏の節電に取り組まなかった理由は何ですか。

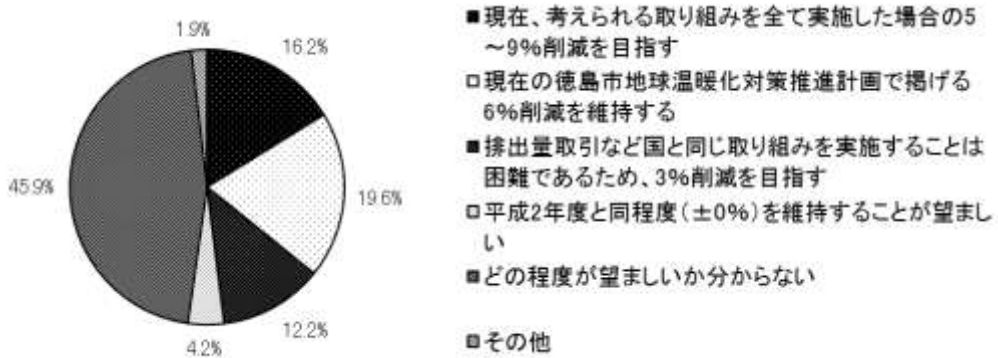
「普段から取り組んでおり、節電の余地がないため」との回答が 38.7%と最も多く、次いで「節電しなくても電気は足りると思ったため」の 22.6%となっています。



4 これからの地球温暖化防止対策についておたずねします。

問 15 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減目標(平成 32 年度)について、おたずねします。あなたは徳島市から排出される温室効果ガスについて、平成 2 年度と比較してどの程度、削減する目標が望ましいとお考えですか。

「どの程度が望ましいか分からない」との回答が 45.8%と最も多く、次いで「現在の徳島市地球温暖化対策推進計画で掲げる 6%削減を維持する」の 19.6%となっています。

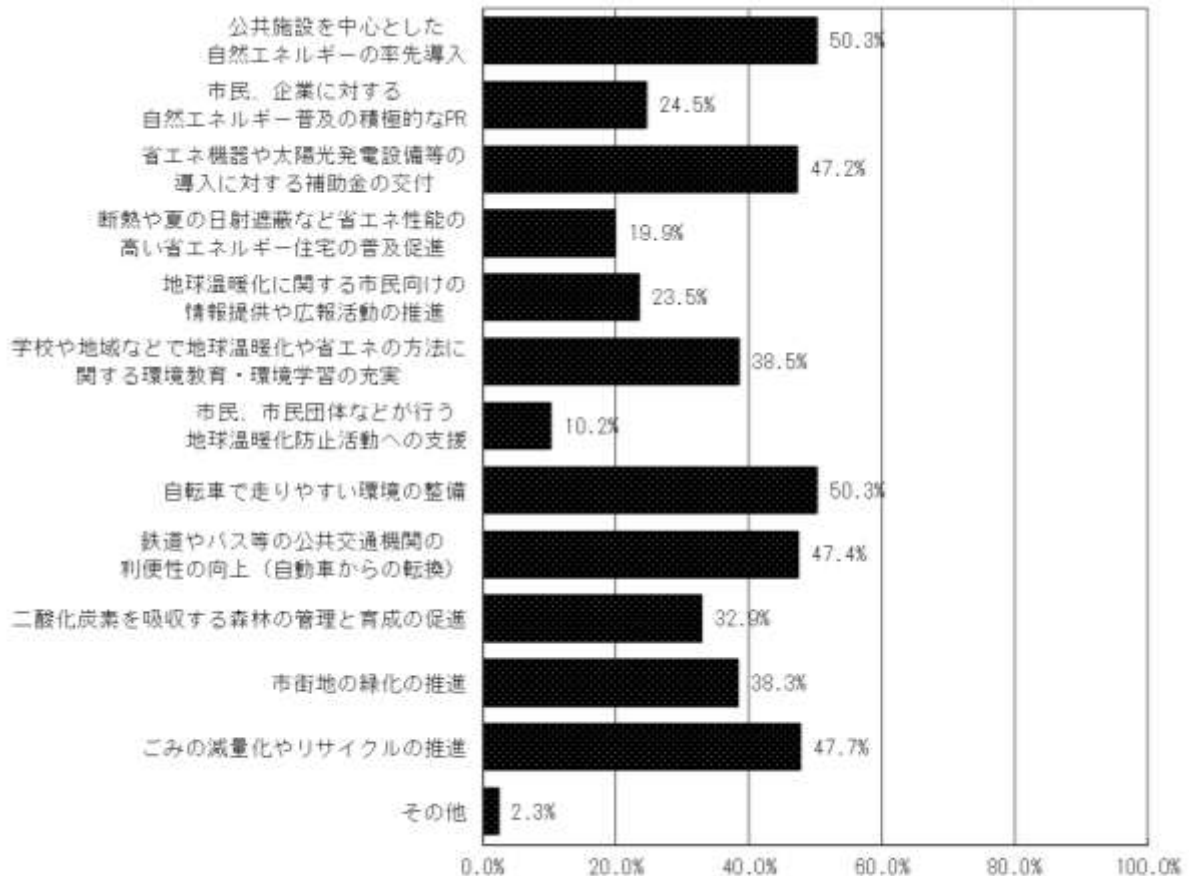


問 16 地球温暖化対策として、徳島市では、これからどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答)

徳島市が取り組むべき地球温暖化対策として、「公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入」と「自転車で走りやすい環境の整備」が 50.3%と最も高くなっています。

次いで、「ごみの減量化やリサイクルの推進」が 47.7%、「鉄道やバス等の公共交通機関の利便性の向上」が 47.4%、「省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付」が 47.2%の回答が高くなっています。

「その他」の回答としては、「バスを小型化にし、通勤時間に多く運用する」や「買い物袋の持参」、「生ごみをバイオマスに活用」等の意見がありました。



問 17 地球温暖化防止に向けて工夫していることや家庭でできる取り組みの提案について。
(一部抜粋)※質問趣旨と異なる回答は除外しています。

【空調に関すること】

- 窓ガラスの断熱化による空調効率向上、厚着や衣類の工夫による暖房エネルギーの節減。(60 歳代、男性)
- 足元用 (ミニ) ホットカーペットを利用して、エアコン温度を 19 度になっている。(70 歳以上、男性)
- 衣類を多く着て、室内はなるべく冷暖房をしない。(70 歳以上、女性)
- エアコンの設定温度の調節等、一人一人が出来る事を (出来る範囲で) 取り組んでいくことが大切だと思う。無理をせず、長期にわたる取り組みが出来る様に意識していく。(20 歳代、男性)
- エアコンの設定温度は、私の家では冷房も暖房も省エネ温度の設定でいつも使用をしていますが、意外と省エネで温度設定をしている人は少ないように思います。もっと、省エネ温度での使用を呼びかけていくべきだと思います。(30 歳代、女性)
- エアコンはほとんど使用せず、自然の風、太陽を利用している。(60 歳代、女性)
- 心がけていることは、エアコンの設定温度です。冬は床暖房 (ガスエコキュート) ですので、夏だけですが高めに設定し、扇風機と併用しています。(60 歳代、女性)
- エアコンの温度設定。(40 歳代、女性)
- 電力使用料の削減 (エアコン・暖房)。服 1 枚の着用・脱ぐ。(70 歳以上、男性)
- 夏場はクーラーより扇風機の使用度が高い。(30 歳代、女性)
- 夕方になると庭に水をまき、クーラーは使用せず扇風機のみで生活している。(60 歳代、男性)
- 夏場におけるいわゆるみどりのカーテン、扇風機利用。(30 歳代、女性)
- 夏や冬などエアコンを使わざるをえない時は、皆でリビングに集まって 1 つのエアコンで済むようにしています。(30 歳代、女性)
- 洗たくは風呂の残り水を使う。エアコンの温度設定。(40 歳代、女性)
- 昼間などは厚着をして、ファンヒーター・エアコンなどは使用しないようにしています。夏でもエアコンを出来る限り使用してません。(節電の為) (20 歳代、男性)
- 冬は寒さ対策の為、夜になると雨戸を閉めカーテンもする。(60 歳代、女性)
- リフォームの際、外壁・屋根に遮熱・断熱、塗装をした。窓ガラスに遮熱・断熱コーティングをした。(60 歳代、女性)
- 家庭でも簡単に出来る、断熱装置・日射防止等。(安価で出来るもの) (70 歳以上、男性)
- ゴーヤ等の断熱推進。(70 歳以上、男性)
- 希望する世帯には、ゴーヤのなえやアサガオの種等を格安で提供してもらいたい。(50 歳代、女性)

【省エネ・節電に関すること】

- LED 照明へ切替えと照度の低下。(60 歳代、男性)
- 電気を大切に使う。電球を LED 化に変えた。(60 歳代、男性)
- エネルギーについて、ムダづかいをせずに、できるだけガマンする。上手につかう。(40 歳代、女性)
- 最近電気ポットから魔法瓶に換えました。(60 歳代、女性)
- 節エネルギーを「あたりまえ」に行う、地域環境の醸成、(家庭内で日頃から意識、子供への習慣付け etc)。冷房に頼らなくても大丈夫な生活習慣。(40 歳代、男性)
- 節電するように、家族で心がけています。(40 歳代、女性)
- ソーラーパネルによる灯りを使用。(40 歳代、男性)
- 常に節電に気を配り、日々生活している次第です。皆々様がそのように心掛けていただきたいと思います。(50 歳代、男性)
- 電源のコンセントは、外に出るとき全て OFF にして外出する。(20 歳代、男性)
- 夏休みなどの長期休暇に子供と一緒に取り組めるような課題を考えて、節電にはげみたいと思います。(40 歳代、女性)
- なるべくコンセントをぬくこと (60 歳代、女性)
- 冷蔵庫の冷気を逃さないように、ビニールを垂らしている。冷蔵庫以外の主電源は抜いておく。(20 歳代、男性)
- 家にいると冷房など使いがちなので、市民が参加できるイベントを増やして、一カ所に集まるようにすればいいと思う。プールなど設備の充実など。(30 歳代、女性)
- エアコンの温度調節、水や電気の節約、コンセントをこまめに抜く。日常のちょっとした行動を一人一人が気をつける。一人も積み重なれば大きな削減につながるかもしれません。「今回はいいか」「まあ、皆がしなくても」そういう気持ちを無くすようにしたいです。(20 歳代、女性)
- 電気をつかわない。昔の事を思えば、冬は 18℃～19℃ただし湿度 60%にこだわっています。湿度 60%だと、風邪はひきにくいし、肌はしっとりして室内にカビの心配もない。本当にいいですよ。靴下はかさねばきしてます。(60 歳代、女性)
- 節電家電への切替 (お金がかかる)、不要な電気を消す、冷暖房温度での節電。(60 歳代、男性)
- 特にありませんが、テレビは見ても見なくても生活に変化はあまりないので、テレビは週に 30 分～5 時間程度しか見ていません！ (30 歳代、男性)
- とにかく、節電・節ガソリンです。(50 歳代、男性)

【その他温暖化防止に関する取組に関すること】

- 一家庭から一つ一つ取り組む事が大切だ。(70 歳以上、男性)
- 地元で取れた農産物を買う。(60 歳代、女性)
- 生活スタイルの適応 (季節に応じた) ⇒サマータイムの導入 (60 歳代、女性)
- 洗たくは風呂の残り水を使う。(40 歳代、女性)

- 夏の暑い時にはたっぷりと汗をかけば日陰で十分涼しい。冬の寒い時にも体を動かせば温かい。(60歳代、男性)
- なるべく家族いっしょに、ひとつのところで過ごすようにしています。(30歳代、女性)
- 一人一人の考えで、子供の頃から親が指導する様に心掛ける。(40歳代、男性)
- 家庭でできる取り組み=家庭費の削減=地球温暖化防止につながると思います。(20歳代、女性)
- 水道使用料の削減(トイレ・洗濯・風呂の残り水)(70歳以上、男性)

【緑化に関すること】

- 住宅のコンクリート化にしない事。(70歳以上、男性)
- 森林資源の役割及び理解を深め、個人的参加も含めて積極的な姿勢にある。(60歳代、男性)
- 各家庭の敷地内だけでもアスファルトから土にもどし、木・花などを植えるだけでも、エアコン等の使用が少なくなり空気も良くなると思う。(30歳代、男性)
- 一戸建て住宅に緑化庭木を植え、剪定費用は必要経費として免税する。アパート・マンションも緑化を多くする。(60歳代、男性)
- 屋上緑化を行う。(40歳代、男性)

【交通手段に関すること】

- 近場であれば自転車、徒歩にしている。(20歳代、男性)
- 自動車をやめる。バス、自転車を利用することを考えている。(70歳以上、女性)
- バス等の公共交通機関の利用。(70歳以上、男性)
- 自転車をすべて利用(パート先までの通勤・買い物・病院等)。(60歳代、女性)
- エコドライブは全くできていないと気付いたので、アイドリングストップ心がけます。(20歳代、女性)
- エコカーへの切り替え。(60歳代、男性)
- 燃費の良い車を主に使用する様にした。(軽にした)(60歳代、女性)

【ごみの減量・リサイクルに関すること】

- 落葉の腐葉土化。(60歳代、男性)
- ゴミはできるだけ出さない工夫をする。(例：生ゴミは肥料にするなど)(60歳代、男性)
- ごみを減らす。無駄な物は買わない。ものを大事に使う。捨てるのではなく、本などは売る。(20歳代、男性)
- ごみを減らすために駅などに、靴や服なども含めたリサイクルボックスを設置してはいかがでしょうか？あと、自販機はマイカップに注ぐタイプのものにしてみては？(30歳代、男性)

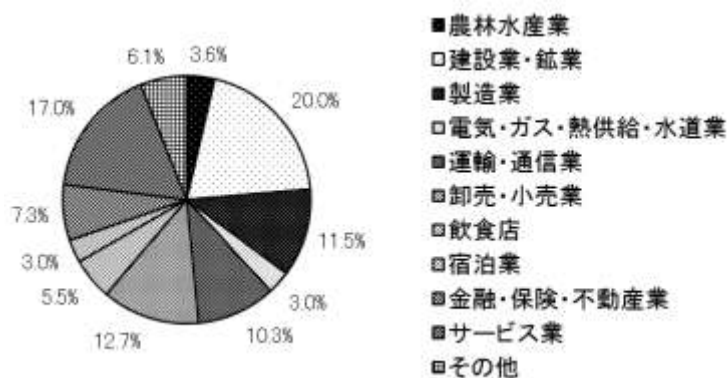
- 資源ごみ、リサイクル、庭の緑化等（60歳代、女性）
- ペーパーレス化（40歳代、男性）
- 毎日できることとして、ゴミの減量については日々努力している。県や市全体で全員がゴミについても、もっと考えればもっと減らせると思う。（50歳代、女性）
- やたらにゴミを出さず、リサイクルにつとめている。（70歳以上、女性）
- スーパーなどにリサイクル出来るゴミ類は持って行っています。（20歳代、男性）
- なるべくビニール袋に抱んでない商品を買っている。（40歳代、女性）
- 何でもゴミに出さず、リサイクルできる物等回収している所にもっていく。（発泡スチロール・あき缶・ビン等）（60歳代、女性）
- 出来るだけゴミを出さず、少しでも水分を残さぬようにしております。リサイクルにも心掛けています。（60歳代、女性）
- 生ゴミを出来るだけ少なくする。（60歳代、女性）
- 食品購入をした時一つ一つの商品に、各々プラスチックの包装が多く大変な無駄である。リサイクルはしているようだが何とか減らしたい。常に関心を持ち、家庭でできる事を細かく実行したい。（70歳以上、男性）
- 生ゴミはほとんど出さず、土に還している。（60歳代、女性）
- ゴミになるような物を買わない。（100円ショップの品物など）。牛乳は宅配のビン牛乳（これがやっぱりおいしい）。（60歳代、女性）
- レジ袋・過剰包装を断る、積極的にエコ製品を購入する。（20歳代、女性）
- 家庭ゴミの減量をしている。（60歳代、男性）
- 資源ごみ（分別適正化）の排出を推進。（30歳代、女性）

■事業者アンケート結果(集計対象者 n=392)

1 貴事業所のことについておたずねします。

問1 貴事業所の業種は。

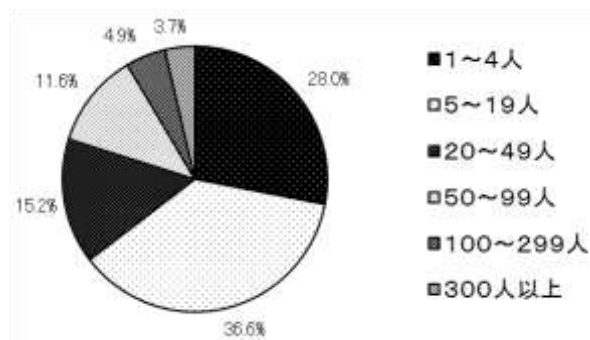
集計対象事業所では、「建設業・鉱業」が20.0%と最も多く、次いで「サービス業」の17.0%となっています。



問2 貴事業所(アンケートを送付させていただいた先)の従業員数は。

集計対象事業所では、「5～19人」36.6%と最も多く、次いで「1～4人」の28.0%となっています。

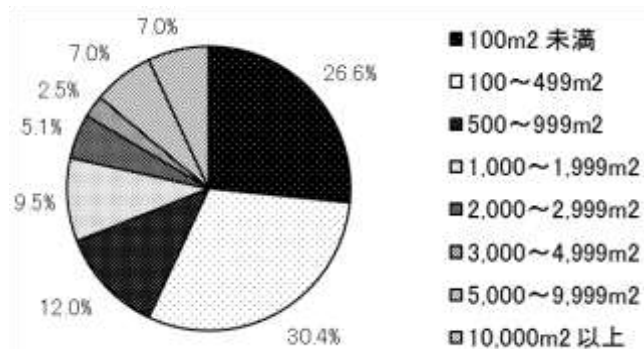
が



問3 貴事業所(アンケートを送付させていただいた先)の延床面積は。

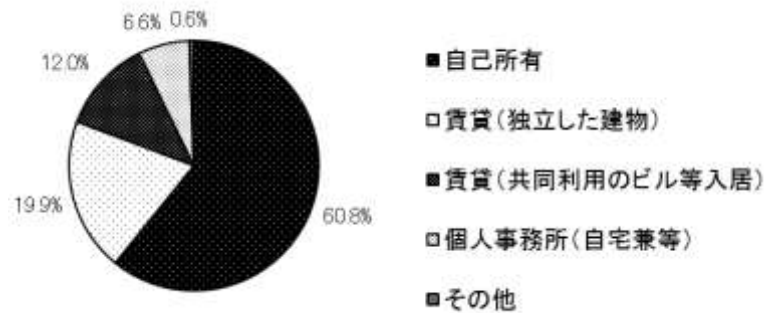
集計対象事業所では、「100～499m²」が30.4%と最も多く、次いで「100m²未満」の26.6%となっています。

「500m²未満」の事業者が回答の過半数を占めています。



問4 貴事業所(アンケートを送付させていただいた先)の建物の所有形態は。

集計対象事業者では、「自己所有」が60.8%と最も多く、次いで「賃貸(独立した建物)」の19.9%となっています。



2 地球温暖化に関する情報についておたずねします。

問5 地球温暖化問題について、どのくらいの関心をお持ちですか。

「どちらかといえば関心がある」と回答した事業所が55.2%と最も多く、次いで「とても関心がある」の35.8%となっています。

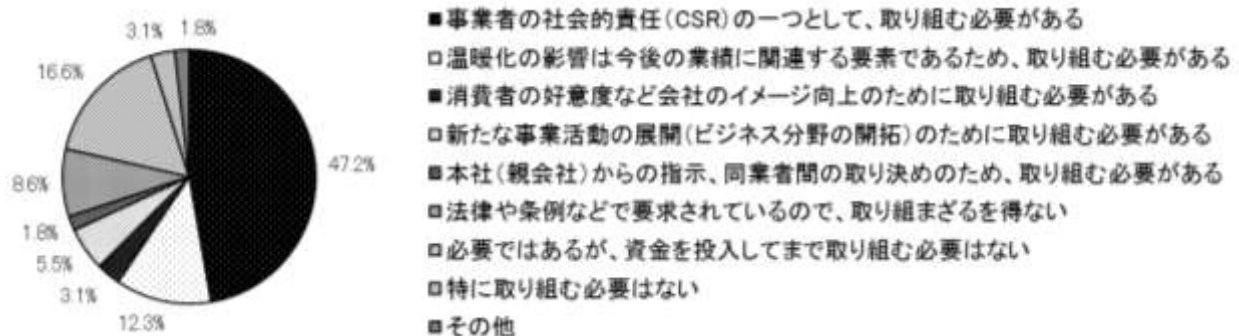
9割を超える事業所が地球温暖化問題に関心を持たれています。



問6 貴事業所では、事業活動における地球温暖化防止の取り組みについてどのようにお考えですか。

「事業者の社会的責任(CSR)の一つとして、取り組む必要がある」と考えている事業者が47.2%と最も多くなっています。

8割近い事業者が地球温暖化防止に取り組む必要があると回答されていますが、「必要ではあるが、資金を投入してまで取り組む必要はない」と考えている事業者16.6%と2番目に大きな割合を占めています。

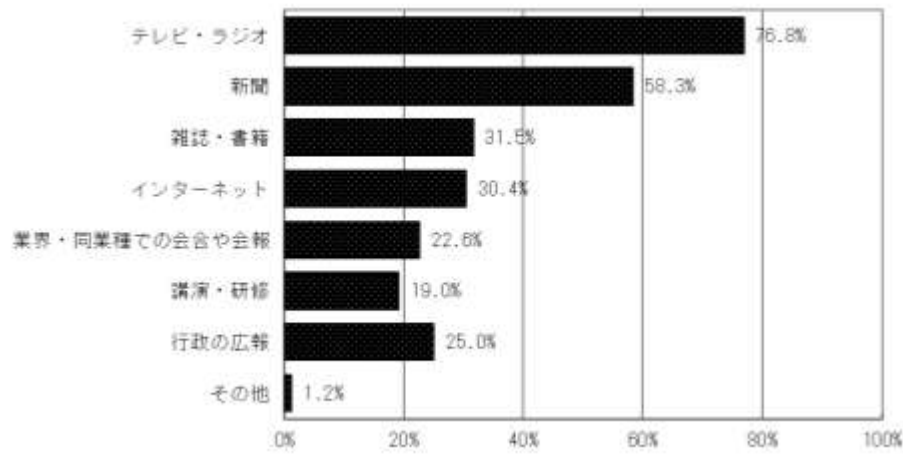


問 7 貴事業所では、地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ていますか。

(複数回答)

「テレビ・ラジオ」で情報を得ている事業者が 76.8%と最も多く、次いで「新聞」が 58.3%となっています。

情報の取得方法は市民アンケート結果と同様の傾向になっています。

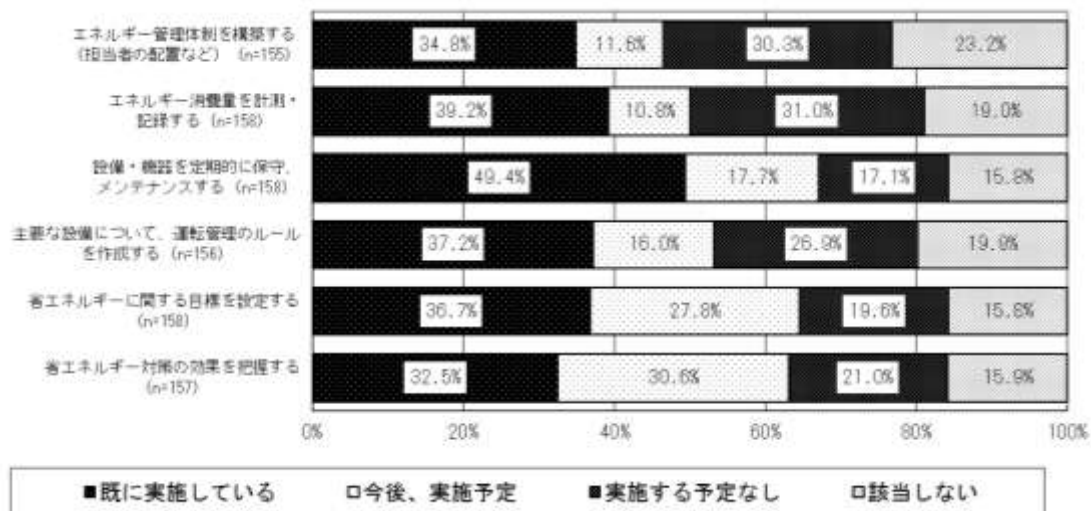


3 エネルギーの使用についておたずねします。

問 8 エネルギーの使用は地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出につながりますが、貴事業所では、機器や設備の利用に伴うエネルギー使用をどのように管理していますか。

「既に実施している」と回答された項目として最も多いのは、「設備・機器を定期的に保守、メンテナンスする」の 49.4%となっています。これば、設備のメンテナンスを怠った場合に、故障が発生し、業務に影響を及ぼす恐れがあることから多くなったと考えられます。

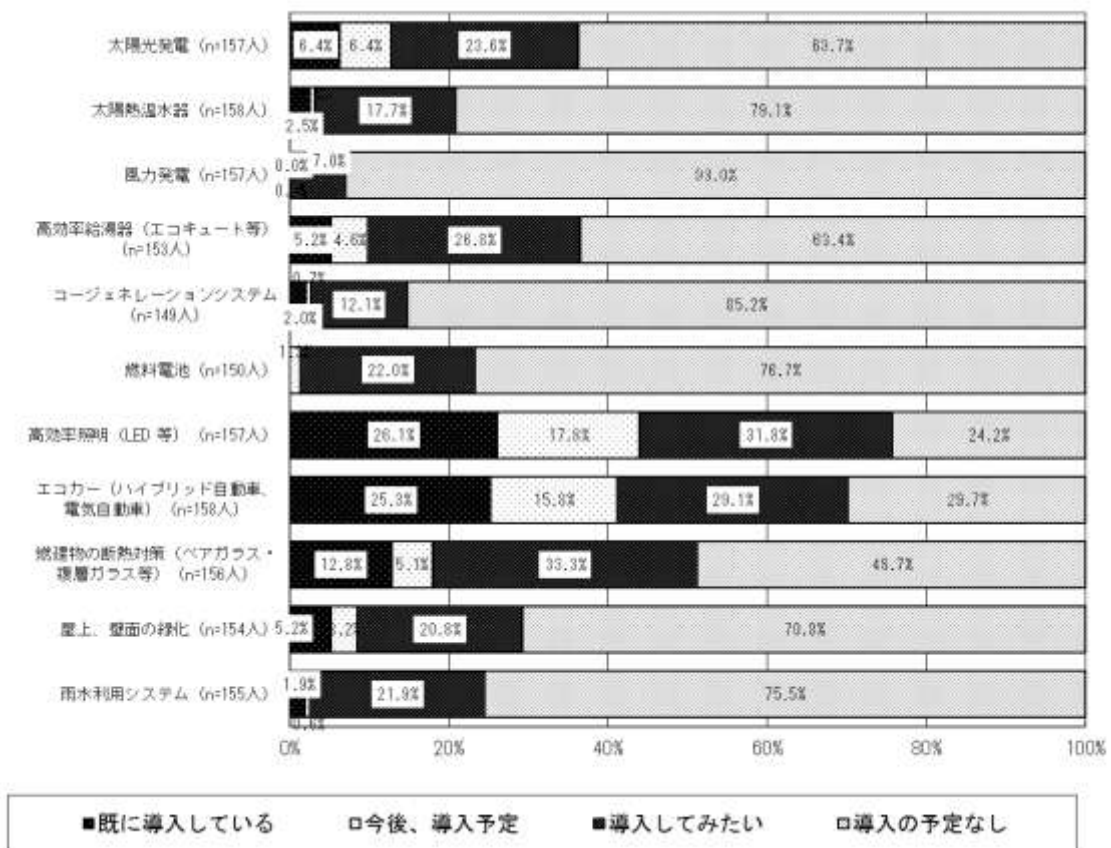
次いで、多いのは「エネルギー消費量を計測・記録する」の 39.2%ですが、この項目は「実施する予定なし」でも 31.0%と多くの回答がなされています。

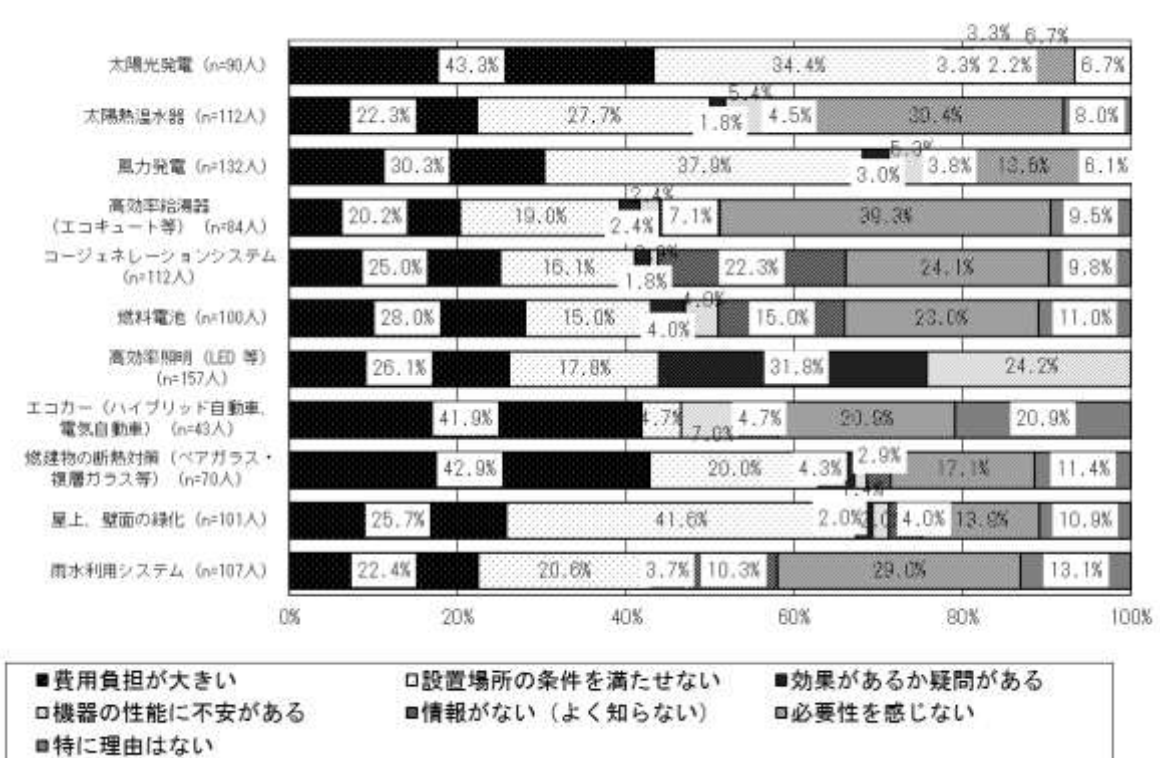


問9 貴事業所では、温室効果ガスの排出削減に効果のある省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等を導入していますか。また、「導入の予定なし」と回答された場合は、その理由は。

「既に導入している」と回答された設備では、「高効率照明（LED等）」が26.1%、「エコカー（ハイブリッド自動車、電気自動車）」が25.3%となっているものの、その他の設備については、ほとんどが「導入の予定がない」と回答した事業者が過半数を占めています。

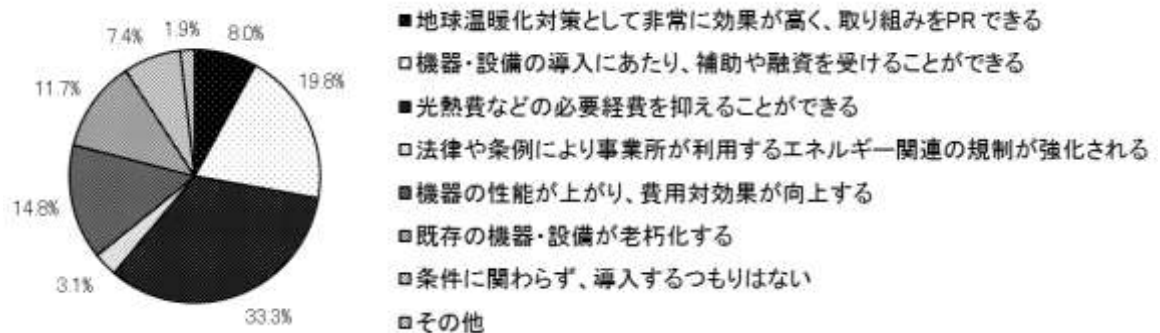
「導入の予定がない」と回答された理由については、「費用負担が大きい」、「設置場所の条件が満たせない」、「必要性を感じない」を選択している事業者が多くなっています。





問 10 今後、地球温暖化対策に効果のある機器・設備を導入するときの条件について

「光熱費などの必要経費を抑えることができる」が 33.3%と最も多く、次いで「機器・設備の導入にあたり、補助や融資を受けることができる」の 19.8%となっています。



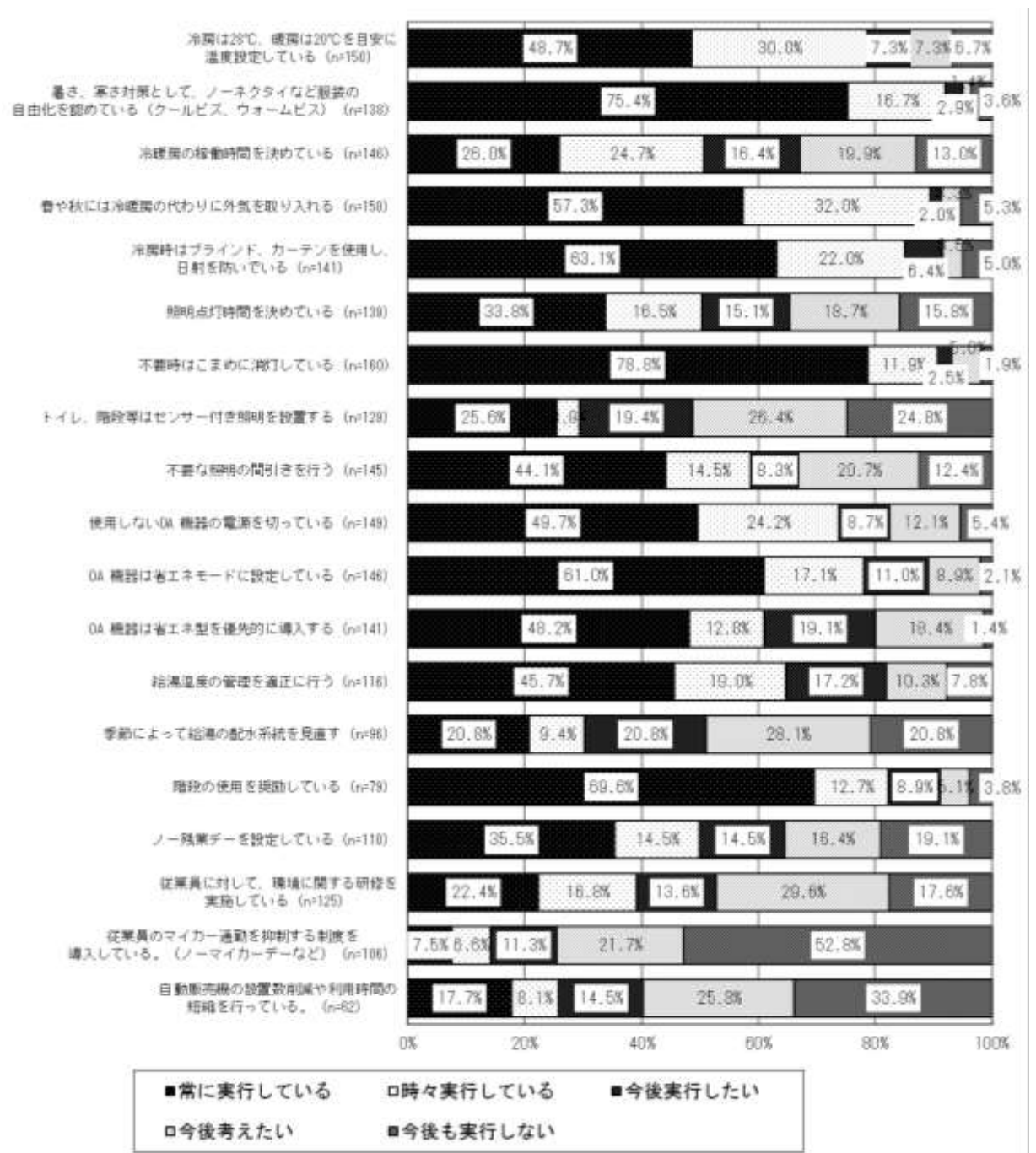
4 温暖化防止に向けた取り組みについておたずねします。

問 11 日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みはありますか。

「常に実行している」と「時々実行している」を合わせた割合が 8 割を越えて取組率が高くなっている項目は「暑さ、寒さ対策として、ノーネクタイなど服装の自由化

を認めている（クールビズ、ウォームビズ）」（92.0%）、「不要時はこまめに消灯している」（90.6%）、「春や秋には冷暖房の代わりに外気を取り入れる」（89.3%）、「冷房時はブラインド、カーテンを使用し、日射を防いでいる」（85.1%）、「階段の使用を奨励している」（82.3%）の5項目となっています。

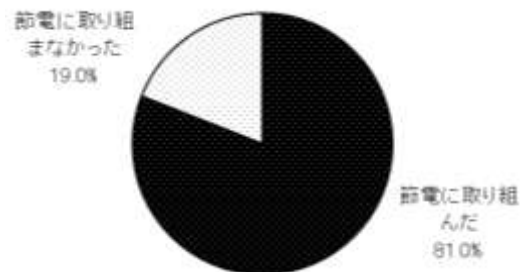
一方、「今後も実行しない」との回答が特に多くなっているのは、「従業員のマイカー通勤を抑制する制度を導入している。（ノーマイカーデーなど）」が52.8%となっており、要因としては、公共交通機関の利用が不便であること（例えば、近くにバス停や駅が無いや通勤時間に本数がない等）や勤務時間外での従業員の行動の制約は行いにくいことが考えられます。



問 12 節電は地球温暖化防止に向けた取り組みの一つですが、平成 24 年の夏(7 月～9 月)は電力不足が懸念されたことから、四国電力管内では、猛暑であった平成 22 年度と比較して 5～7%の節電要請が出されました。平成 24 年の夏の節電の取り組みについておたずねします。

①平成 24 年の夏の節電に取り組みましたか。

集計対象事業所のうち「節電に取り組んだ」のは 81.0%、「節電に取り組まなかった」のは 19.0%と大半の事業所が節電に取り組まれました。



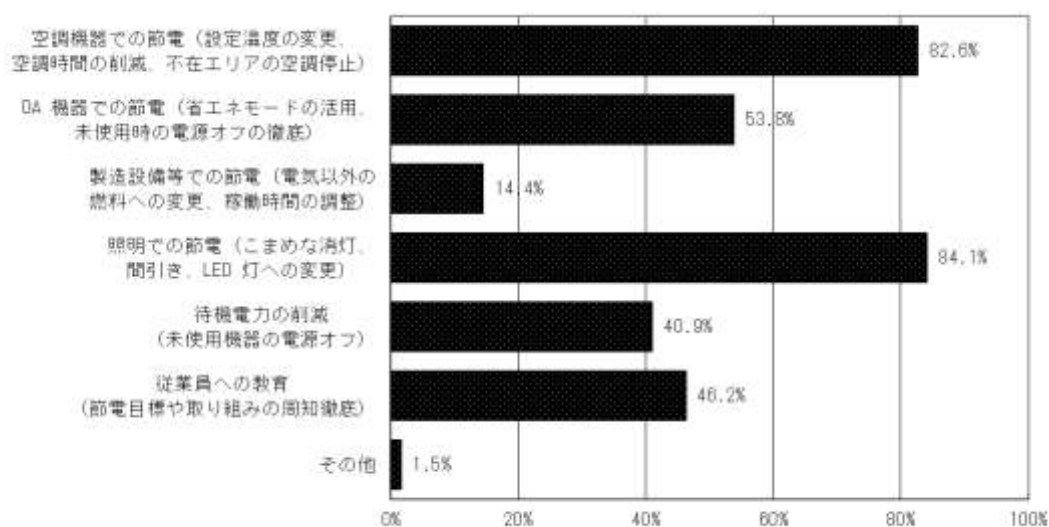
②「節電に取り組んだ」事業所の方に。平成 24 年の夏の節電では、どのようなことに重点的に取り組みましたか。(複数回答)

最も多かったのは「エアコンでの節電(設定温度を見直す、扇風機との併用、フィルターの掃除)」で 88.3%となっており、次いで「照明での節電(こまめな消灯、LED 灯への変更)」の 75.3%となっています。

「その他」では「電気製品にタイマーを取り付けた」などの取り組みが挙げられています。

最も多かったのは「照明での節電(こまめな消灯、間引き、LED 灯への変更)」で 84.1%となっており、次いで「空調機器での節電(設定温度の変更、空調時間の削減、不在エリアの空調停止)」の 82.6%となっています。

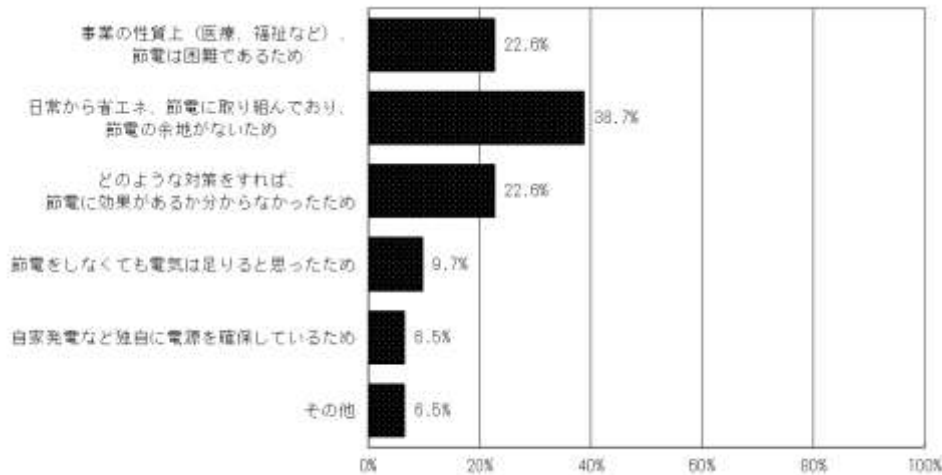
「その他」では「日中は外気と扇風機を使用する」や「ノー残業デーの設定」等の意見がありました。



③「節電に取り組まなかった」事業所の方に。平成 24 年の夏の節電に取り組まなかった理由は何ですか。(複数回答)

「日常から省エネ、節電に取り組んでおり、節電の余地がないため」が 38.7%と最も多く、次いで「事業の性質上（医療、福祉など）、節電は困難であるため」と「どのような対策をすれば、節電に効果があるか分からなかったため」の 22.6%となっています。

「その他」としては、「事業規模が小さくあまり関係ないと思う」や「意識が薄かった」等の意見がありました。



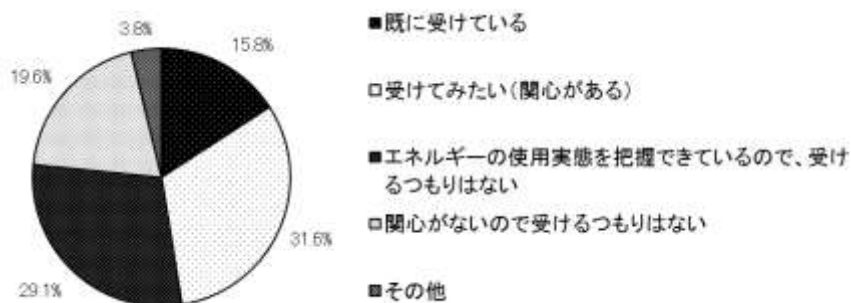
問 13 効率的なエネルギー利用（機器や設備の効率的な運転や工程改善など）を進めることは地球温暖化防止のために重要な取り組みになります。

次の取り組みについて、どのように思われますか。

①エネルギーの使用実態を調査し、効率的な利用についてのアドバイスを第三者から受けることができる制度（省エネ診断）

「受けてみたい（関心がある）」が 31.6%と最も多く、次いで「エネルギーの使用実態を把握できているので、受けるつもりはない」の 29.1%となっています。

「その他」では「現在はまだ考えていない」等の意見がありました。



②省資源・省エネルギーなどの効果的な利用についての手順を定め、実行する環境経営システム(エコアクション 21)

「関心がないので受けるつもりはない」が 38.6%と最も多くなっており、次いで「認証取得したい(関心がある)」の 16.3%となっています。

「その他」として、「事務所が小さいので、必要性を感じない」や「今後考えたい」等の意見がありました。

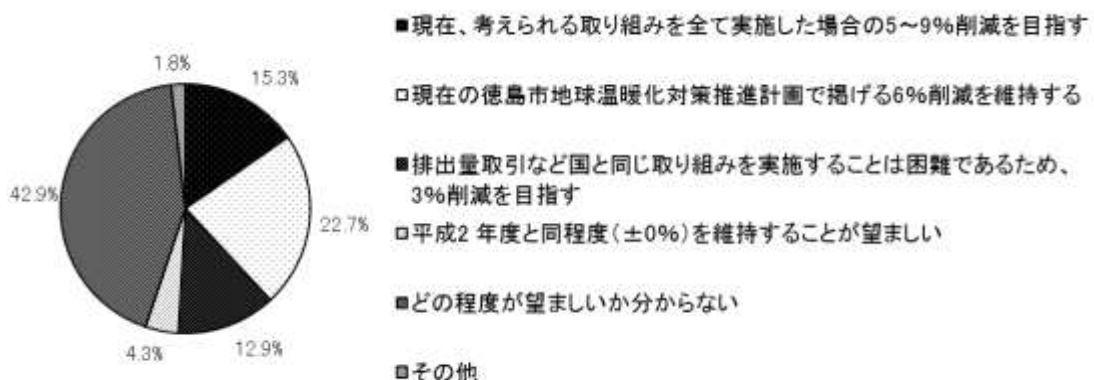


4 これからの地球温暖化防止対策についておたずねします。

問 14 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減目標(平成 32 年度)について、おたずねします。あなたは徳島市から排出される温室効果ガスについて、平成 2 年度と比較してどの程度、削減する目標が望ましいとお考えですか。

「どの程度が望ましいか分からない」が 42.9%と最も多く、次いで「現在の徳島市地球温暖化対策推進計画で掲げる 6%削減を維持する」の 22.7%となっています。

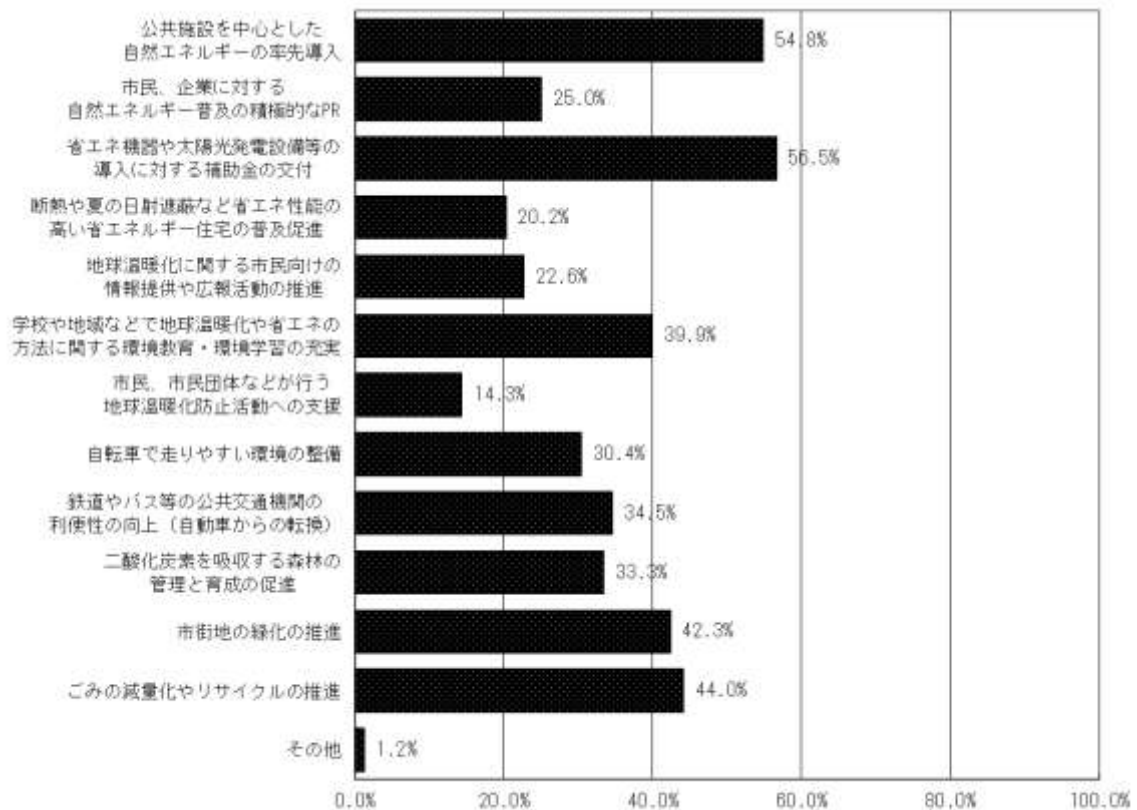
市民アンケート結果とほぼ同様の傾向となっています。



問 15 地球温暖化対策として、徳島市では、これからどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。(複数回答)

徳島市が取り組むべき地球温暖化対策として「省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付」が56.5%と最も多く、次いで「公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入」の54.8%となっています。

次いで、「ごみの減量化やリサイクルの推進」(44.0%)、「市街地の緑化の推進」(42.3%)、「学校や地域などで地球温暖化や省エネの方法に関する環境教育・環境学習の充実」(39.9%)となっています。



問 16 貴事業所において地球温暖化防止に向けて取り組んでいること、事業所での地球温暖化防止に効果のある取り組みについて。

(一部抜粋)※質問趣旨に合わない回答は除外しています。

【空調・照明機器の利用に関すること】

- 日昼はエアコンを使用しない。(農林水産業)
- 照明器具を1/3に減らした。大型クーラー3つのうち2つを撤去した。(卸売・小売業)
- 照明のこまめな消灯。空調機器の温度等で取り組んでいきたい。(飲食店)
- 節電の為、室温を低くしている。(建設業・鉱業)
- エアコン、照明器具の交換(建設業・鉱業)

- 夏クーラーつけずに働いています。こういう事務所に対して、補助金制度があればと思います。(卸売・小売業)
- LEDを使用した照明器具の設置。(卸売・小売業)
- 窓等に遮熱フィルム貼り。(建設業・鉱業)

【その他・エネルギー使用に関すること】

- 化石燃料の値上げにより、温暖化防止というよりも、経費削減のために、エネルギーの効率利用にとり組まざるを得ない。(製造業)
- 年間で節電目標をかかげ、努力するよう取組んでいる。(製造業)
- 効率のよい製造に努める。(製造業)
- 節電に取り組んでいること。(サービス業)
- 各自が業務効率を上げ、全社的に残業時間の削減を推進。(製造業)
- 太陽光発電設備設置。A 重油→都市ガス燃料転換。LED 電球等、省エネ設備使用の推進。(製造業)
- 全社システムにより、エネルギー使用量について、前年比較している。(運輸・通信業)
- メイン蒸気ボイラーの燃料転換 (C 重油→13A 都市ガス) を実施。(製造業)
- 老朽設備の取替にあわせて、省エネ等を考慮している。(サービス業)
- 節電。(サービス業)
- フロ残り湯の活用。(農林水産業)

【車両に関すること】

- ハイブリッド車の採用、エコ運転の徹底も効果が見られる。(建設業・鉱業)
- 業務車両を普通車より軽車両、又はハイブリット車輛に随時入れ替えている。(建設業・鉱業)

【緑化に関すること】

- 施設内外緑化推進の為、モデル事業所の見学。とくしまの緑を増やす為の啓蒙活動。(サービス業)
- 緑化。(サービス業)

【廃棄物に関すること】

- ゴミの分別。リサイクル品の活用。(建設業・鉱業)
- ごみの減量化。(卸売・小売業)

【社員教育に関すること】

- 社内教育の実施。(サービス業)
- 環境へ配慮することを常に心がけるよう、職場全体で意識することが大切である。(製造業)
- 社員教育。(その他)
- ことあるごとに地球温暖化について話しあい、できることから実行する。(不明)